



プレス加工コストダウンニュース

材質を問わず、薄く、強く、軽く、板厚も均一に、形状も自由自在に加工できる高度な深絞りの技術を持つ加藤製作所なら、必ず安心・安全な製品づくりのお役に立てます。



アルミニウムの深絞り加工のご紹介



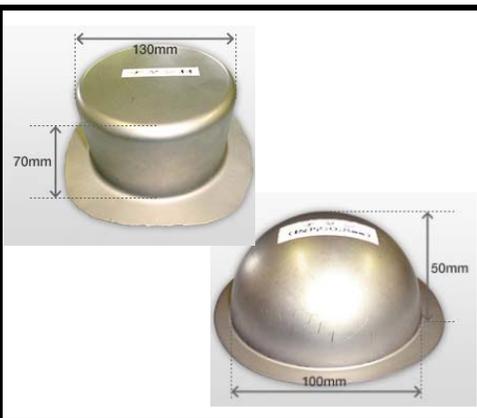
昨今、自動車部品の軽量化がテーマの展示会が開催されるなど注目度も高くなりました。当社でもアルミニウム材を使用してお引合を頂く機会が多くなり、そのひとつとしてオイルパンの軽量化がこれからの開発テーマと受け留めています。オイルパンとは車のエンジン下部に搭載される部品で、エンジンオイルを溜め外部に漏らさない役割を担っています。当社では鉄からアルミニウムに変える際に在る多くの技術課題に挑戦するため独自のアルミ製オイルパンの図面を作図し（公差JIS2級）積極的にPRを行なっています。写真は試作用に加工した口金の「リング部（Al5052O材）」です。アルミ深絞り技術にご興味を持たれた方は、是非ご連絡下さい。

深絞り専用プレス機が立ち上がりました！



当社では、深絞りプレス専用機としてアミノ製の対向液圧成形機を2台保有していますが、今年初めに新たに3号機を導入し立ち上げ準備を進めてまいりました。仕様は総合出力400Mpaの能力を保有し、加工スペックは最大製品寸法は左右500mm×400mmまたは700mm×300mm最大製品深さは250mmまで加工できます。1号機は家電住宅専用。2号機は航空機製品で稼働が占められており、今回新たなお客様のニーズに応えるべく体制を整えました。絞り加工品の試作・量産を検討の方は加藤製作所にお任せ下さい。

チタンの深絞りなら「絞りのかとう」へ



チタンは軽くて強く、耐食性がある特性に加えアレルギーがほとんどない、弾力性がありしなやかさ光触媒作用を持つ等、昨今多くの製品づくりに使われるようになりました。一方、難加工材というイメージが強く採用にまだ二の足を踏まれるメーカーが多いのも事実です。当社は以前よりチタンの深絞り加工にも取組み、対向液圧プレスならではの特性を生かし、他の金属の違う点を補い割れキズが付きものである絞り加工上の問題を解決しています。チタンの製品を検討の方は、是非加藤製作所にご相談願います。

～今月の一言～

最新ニュース：第52期（平成30年度）経営計画発表会をおこないます



当社では年度末3月に全社員一同に会し、新年度に向けての経営計画発表会を行なっています。今年も来る3月24日（土）中津川商工ホールを貸切り、前半は講演会・後半に発表会を行います。今年は大阪から枚岡合金工具(株)代表取締役会長 古芝保治氏をお招きして『人生に儲けとツキを呼ぶ3S成功秘訣』と題してお話を頂きます。発表会は例年通り、当社の顧問会計士・弁護士・社労士そしてメインバンクの支店長に来賓としてお越し頂き、列席の上、来期の経営方針、目標などを細かく発表されます

深絞り技術をご紹介します！カバー・タンクなどの設計・製作でお困りの際には、ご相談ください！

株式会社加藤製作所では、プレス加工技術の中でも絞り加工技術を得意とし、タンク・カバー部品などの量産加工に対応しています。対応可能な材質は、鉄系の材料はもちろん、ステンレス・アルミ・チタン・ハステロイ等、様々です。技術ニュース内でご紹介をした以外にも、これまでに製作してきた事例などを絞り加工.comに随時更新してまいります。量産品の設計される際に、考えて頂きたいプレス加工におけるポイントなども掲載しています。ご不明点や知りたい情報がありましたら、お気軽にご相談ください！

絞り加工、プレス絞り加工、絞り、深絞り

絞り加工.COM

複雑な形状の深絞り加工 加工の難しい材質の深絞り

☎ 0573-65-4175

FAX 0573-65-4177

株式会社加藤製作所

担当/営業部 西尾・兼松（アシスタント 吉田）